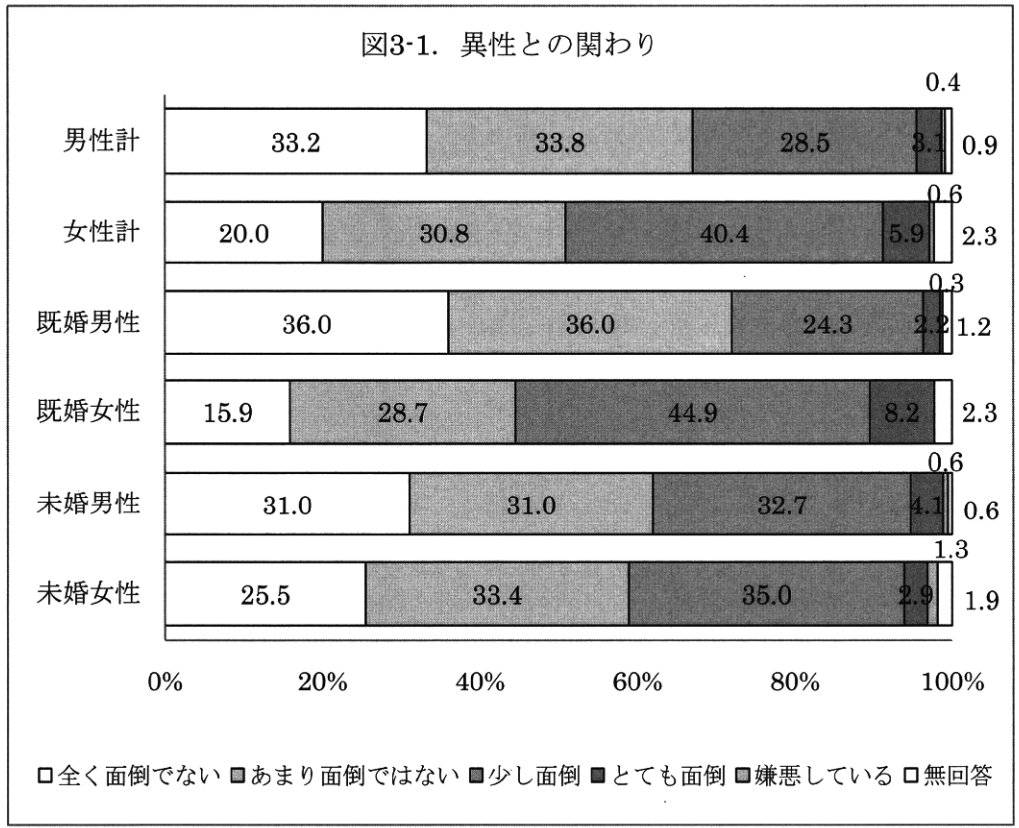


図3-1. 異性との関わり



4. 避妊方法周知媒体

避妊法を知るに至った経路として「どのような媒体」を通してかについて聞いている。男性全体でみると「教師や学校の授業から」が最も多く 28.3%であった。次いで、「友達から」が 25.6%、「マスコミ」19.8%、「意識せずに自然と学んだ」16.5%と続いていた。未婚別でみると既婚男性は「友達から」が最も多く 32.9%、「マスコミ」24.3%、「意識せずに自然と学んだ」16.3%、「教師や学校の授業から」15.4%と低値であった。未婚男性は「教師や学校の授業から」が最も多く 40.6%、「友達から」18.7%、「意識せずに自然と学んだ」17.0%、「マスコミ」15.5%となっていた。

世代別からみてもわかるように 35 歳以降の男性は「友達から」や「マスコミ」を通して周知するのが多く、35 歳未満は学校での「性教育」が浸透してきたために「教師や学校の授業から」の周知が多くなっていた。

表 4-1. 既婚男性における避妊法の周知媒体

男性	既婚男性		25 歳未満		25-34 歳		35-44 歳		45 歳以上		男性総計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
教師・学校の授業から	50	15.4			23	27.1	18	11.1	9	11.8	190	28.3
医師や助産師等の医療従事者から	3	0.9					2	1.2	1	1.3	4	0.6
親から	8	2.5	1	50.0	2	2.4	3	1.9	2	2.6	12	1.8
兄弟姉妹から	1	0.3							1	1.3	1	0.1
親以外の大人から	3	0.9					2	1.2	1	1.3	4	0.6
友達から	107	32.9			27	31.8	55	34.0	25	32.9	172	25.6
マスコミから	79	24.3			12	14.1	43	26.5	24	31.6	133	19.8
インターネットから	1	0.3			1	1.2					9	1.3
意識せず自然と学んだ	53	16.3	1	50.0	15	17.6	28	17.3	9	11.8	111	16.5
学んだことはない	19	5.8			5	5.9	11	6.8	3	3.9	30	4.5
無回答	1	0.3							1	1.3	5	0.7
総計	325	100.0	2	100.0	85	100.0	162	100.0	76	100.0	671	100.0

表 4-2. 未婚男性の避妊法の周知媒体

男性	未婚男性		25歳未満		25-34歳		35-44歳		45歳以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
教師・学校の授業から	139	40.6	74	59.7	46	36.8	16	24.2	3	11.1
医師や助産師等の医療従事者から	1	0.3			1	0.8				
親から	4	1.2			4	3.2				
兄弟姉妹から										
親以外の大人から	1	0.3							1	3.7
友達から	64	18.7	18	14.5	23	18.4	18	27.3	5	18.5
マスコミから	53	15.5	10	8.1	21	16.8	12	18.2	10	37.0
インターネットから	8	2.3	5	4.0	3	2.4				
意識せず自然と学んだ	58	17.0	15	12.1	25	20.0	12	18.2	6	22.2
学んだことはない	10	2.9	1	0.8	2	1.6	5	7.6	2	7.4
無回答	4	1.2	1	0.8			3	4.5		
総計	342	100.0	124	100.0	125	100.0	66	100.0	27	100.0

女性の避妊法の周知媒体は、女性全体でみると「教師や学校の授業から」が最も多く40.0%であった。次いで、「友達から」が19.8%、「マスコミ」16.1%、「意識せずに自然と学んだ」16.1%と続いていた。未既婚別でみると既婚女性は「教師や学校の授業から」33.4、「友達から」22.79%、「マスコミ」20.0%、「意識せずに自然と学んだ」17.1%であった。未婚女性も同様に「教師や学校の授業から」48.3%、「友達から」16.2%、「意識せずに自然と学んだ」15.1%、「マスコミ」11.4%となっていた。女性においては、年齢に関係なく学校の授業で学んでいることが示されていた。

表 4-3. 既婚女性における避妊法の周知媒体

女性	既婚女性		25歳未満		25-34歳		35-44歳		45歳以上		女性総計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
教師・学校の授業から	162	33.4	6	42.9	54	45.8	70	31.4	32	24.6	348	40.0
医師や助産師等の医療従事者から	9	1.9			3	2.5	4	1.8	2	1.5	15	1.7
親から	4	0.8			2	1.7	1	0.4	1	0.8	9	1.0
兄弟姉妹から											2	0.2
親以外の大人から	4	0.8			2	1.7	2	0.9			8	0.9
友達から	110	22.7	2	14.3	22	18.6	60	26.9	26	20.0	172	19.8
マスコミから	97	20.0			17	14.4	46	20.6	34	26.2	140	16.1
インターネットから											4	0.5
意識せず自然と学んだ	83	17.1	6	42.9	15	12.7	36	16.1	26	20.0	140	16.1
学んだことはない	9	1.9			2	1.7	3	1.3	4	3.1	22	2.5
無回答	7	1.4			1	0.8	1	0.4	5	3.8	9	1.0
総計	485	100.0	14	100.0	118	100.0	223	100.0	130	100.0	869	100.0

表 4-4. 未婚女性における避妊法の周知媒体

女性	未婚女性		25歳未満		25-34歳		35-44歳		45歳以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
教師・学校の授業から	182	48.3	89	59.7	45	41.7	34	38.2	14	45.2
医師や助産師等の医療従事者から	6	1.6	2	1.3	2	1.9	2	2.2		0.0
親から	5	1.3	1	0.7			1	1.1	3	9.7
兄弟姉妹から	2	0.5			2	1.9				
親以外の大人から	4	1.1			1	0.9	2	2.2	1	3.2
友達から	61	16.2	16	10.7	18	16.7	21	23.6	6	19.4
マスコミから	43	11.4	12	8.1	18	16.7	9	10.1	4	12.9
インターネットから	4	1.1	3	2.0			1	1.1		
意識せず自然と学んだ	57	15.1	22	14.8	16	14.8	16	18.0	3	9.7
学んだことはない	11	2.9	4	2.7	5	4.6	2	2.2		
無回答	2	0.5			1	0.9	1	1.1		
総計	377	100.0	149	100.0	108	100.0	89	100.0	31	100.0

5. 現時点で適切と判断する避妊方法

現時点で適切と判断する避妊方法について問いかけている。表に示した7項目の避妊法の選択肢に加え「フィルム法」と「緊急避妊法」を加えた9項目の選択肢から1つのみを選択する方法で問いかけている。

男性が適切と判断している避妊法は、「コンドーム」が最も多く男性全体で90.6%、既婚91.1%、未婚90.4%であった。次に挙げられていたのは「経口避妊薬（ピル）」で3.9%、既婚3.7%、未婚4.1%であった。「膈外射精」は2.2%と低値であった。

表 5-1. 男性が適切と判断する避妊法

	コンドーム		経口避妊薬		オギノ式		基礎体温法		膈外射精		ペッサリー		子宮内避妊具		この中 にない		無回答		総計
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
男性総計	608	90.6	26	3.9			1	0.1	15	2.2	1	0.1	1	0.1	11	1.6	8	1.2	671
既婚男性	296	91.1	12	3.7			1	0.3	7	2.2	1	0.3			5	1.5	3	0.9	325
25歳未満	2	100.0																	2
25-34歳	78	91.8	4	4.7			1	1.2	1	1.2				1	1.2				85
35-44歳	147	90.7	7	4.3					4	2.5				3	1.9	1	0.6		162
45歳以上	69	90.8	1	1.3					2	2.6	1	1.3		1	1.3	2	2.6		76
未婚男性	309	90.4	14	4.1					7	2.0			1	0.3	6	1.8	5	1.5	342
25歳未満	114	91.9	3	2.4					2	1.6				3	2.4	2	1.6		124
25-34歳	112	89.6	7	5.6					3	2.4			1	0.8	1	0.8	1	0.8	125
35-44歳	58	87.9	2	3.0					2	3.0				2	3.0	2	3.0		66
45歳以上	25	92.6	2	7.4															27
未既婚不詳	3	75.0							1	25.0									4
35-44歳	2	66.7							1	33.3									3
45歳以上	1	100.0																	1

女性が適切と判断する避妊法は「コンドーム」で84.3%であった。男性の90.6%に比べ低値であり有意差(p<0.001)を認めた。既婚女性で83.5%、未婚85.4%と後者が1.9ポイント高値を示していた。次に多かったのが「経口避妊薬（ピル）」で6.1%と男性より2.2ポイント上回っていた。既婚5.8%、未婚6.6%と未婚が0.8ポイント上回っていた。「基礎体温法」2.0%で、既婚3.1%、未婚0.5%と既婚者が高値で有意差(p<0.05)を認めた。「子宮内避妊具」は既婚1.9%、未婚1.6%、平均1.7%であった。オギノ式を避妊法と考える女性は869名中わずか4名(0.5%)でしかなかった。

尚、各種避妊法の選択肢の中に「フィルム法」や「緊急避妊法」を設けていたが、避妊法と捉えたものは男女とも皆無であった。

表 5-2. 女性が適切と判断する避妊法

	コンドーム		経口避妊薬		オギノ式		基礎体温法		腔外射精		ベッサリー		子宮内避妊具		この中 ない		無回答		総計
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
女性	733	84.3	53	6.1	4	0.5	17	2.0	7	0.8	2	0.2	15	1.7	16	1.8	22	2.5	869
既婚	405	83.5	28	5.8	3	0.6	15	3.1	6	1.2	2	0.4	9	1.9	6	1.2	11	2.3	485
25歳未満	12	85.7	2	14.3															14
25-34歳	99	83.9	7	5.9	1	0.8	2	1.7	2	1.7			5	4.2	1	0.8	1	0.8	118
35-44歳	191	85.7	14	6.3	1	0.4	8	3.6	1	0.4	1	0.4	4	1.8	2	0.9	1	0.4	223
45歳以上	103	79.2	5	3.8	1	0.8	5	3.8	3	2.3	1	0.8			3	2.3	9	6.9	130
未婚	322	85.4	25	6.6	1	0.3	2	0.5	1	0.3			6	1.6	9	2.4	11	2.9	377
25歳未満	123	82.6	11	7.4	1	0.7	1	0.7	1	0.7			2	1.3	5	3.4	5	3.4	149
25-34歳	97	89.8	5	4.6									1	0.9	1	0.9	4	3.7	108
35-44歳	73	82.0	8	9.0			1	1.1					2	2.2	3	3.4	2	2.2	89
45歳以上	29	93.5	1	3.2									1	3.2					31
未既婚不詳	6	85.7													1	14.3			7
25歳未満	1	50.0													1	50.0			2
25-34歳	3	100.0																	3
35-44歳	1	100.0																	1
45歳以上	1	100.0																	1
総計	1341	87.1	79	5.1	4	0.3	18	1.2	22	1.4	3	0.2	16	1.0	27	1.8	30	1.9	1540

6. コンドームの利用を増やす方策

コンドームに対する認識を「性感染症予防のためにも重要であるが、どのようにすれば利用が増えるか？」という問いに対する考えを聞いている。それに対して男性は「コンドームの有効性を周知する」という考えが226名(33.7%)と最も高く、既婚37.2%、未婚30.7%であった。次いで「色々な場所で入手できるようにする」28.9%で、既婚28.3%、未婚29.2%、「使いやすい商品を開発する」14.5%、既婚15.7%、未婚13.2%と続いていた。

表 6-1. 性感染症予防に対する男性のコンドームの考え

	値段を安くする		色々な場所で入手できるように		使いやすい商品を開発する		コンドームの有効性を周知させる		その他		無回答		総計
男性総計	93	13.9	194	28.9	97	14.5	226	33.7	55	8.2	6	0.9	671
既婚男性	34	10.5	92	28.3	51	15.7	121	37.2	24	7.4	3	0.9	325
25歳未満	1	50.0							1	50.0			2
25-34歳	11	12.9	25	29.4	15	17.6	26	30.6	8	9.4			85
35-44歳	16	9.9	43	26.5	26	16.0	66	40.7	10	6.2	1	0.6	162
45歳以上	6	7.9	24	31.6	10	13.2	29	38.2	5	6.6	2	2.6	76
未婚男性	58	17.0	100	29.2	45	13.2	105	30.7	31	9.1	3	0.9	342
25歳未満	34	27.4	32	25.8	12	9.7	34	27.4	10	8.1	2	1.6	124
25-34歳	17	13.6	40	32.0	16	12.8	36	28.8	16	12.8			125
35-44歳	6	9.1	20	30.3	11	16.7	23	34.8	5	7.6	1	1.5	66
45歳以上	1	3.7	8	29.6	6	22.2	12	44.4					27
未婚不詳	1	25.0	2	50.0	1	25.0							4
35-44歳	1	33.3	2	66.7									3
45歳以上					1	100.0							1

女性も同様に「コンドームの有効性を周知する」という考えが412名(47.4%)と最も高く、男性の33.7%に比べ有意($p<0.001$)に高値であった。既婚女性51.5%、未婚41.9%であり有意差($p<0.01$)を認めた。次いで「色々な場所で入手できるようにする」20.5%で、既婚19.4%、未婚22.0%、「値段を安くする」12.4%、既婚9.7%、未婚16.2%と続いており、この間にも有意差($p<0.01$)を認めた。

表 6-2. 性感染症予防に対する女性のコンドームの考え

	値段を安くする		色々な場所で入手できるように		使いやすい商品を開発する		コンドームの有効性を周知させる		その他		無回答		総計
女性	108	12.4	178	20.5	98	11.3	412	47.4	49	5.6	24	2.8	869
既婚	47	9.7	94	19.4	48	9.9	250	51.5	30	6.2	16	3.3	485
25歳未満	2	14.3	4	28.6	2	14.3	4	28.6	2	14.3		0.0	14
25-34歳	16	13.6	26	22.0	14	11.9	50	42.4	11	9.3	1	0.8	118
35-44歳	24	10.8	44	19.7	24	10.8	113	50.7	11	4.9	7	3.1	223
45歳以上	5	3.8	20	15.4	8	6.2	83	63.8	6	4.6	8	6.2	130

表 6-3. 性感染症予防に対する女性のコンドームの考え

	値段を安く する		色々な場所 で入手でき るように		使いやすい 商品を開発 する		コンドーム の有効性を 周知させる		その他		無回答		総計
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
未婚	61	16.2	83	22.0	50	13.3	158	41.9	18	4.8	7	1.9	377
25歳未満	37	24.8	27	18.1	22	14.8	51	34.2	7	4.7	5	3.4	149
25-34歳	14	13.0	28	25.9	11	10.2	48	44.4	7	6.5		0.0	108
35-44歳	10	11.2	21	23.6	14	15.7	40	44.9	2	2.2	2	2.2	89
45歳以上		0.0	7	22.6	3	9.7	19	61.3	2	6.5		0.0	31
未既婚不詳		0.0	1	14.3		0.0	4	57.1	1	14.3	1	14.3	7
25歳未満		0.0		0.0		0.0		0.0	1	50.0	1	50.0	2
25-34歳		0.0	1	33.3		0.0	2	66.7		0.0		0.0	3
35-44歳		0.0		0.0		0.0	1	100.0		0.0		0.0	1
45歳以上		0.0		0.0		0.0	1	100.0		0.0		0.0	1
総計	201	13.1	372	24.2	195	12.7	638	41.4	104	6.8	30	1.9	1540

7. 経口避妊薬の周知度

1999年9月に低用量の経口避妊薬が使用できるようになって11年が経過したが、その周知度について問いかけている。

男性の周知度として「良く知っている」5.7%、「ある程度知っている」46.3%と周知しているのは52.0%であった。未既婚でみると既婚49.8%に対し未婚53.5%と未婚が3.7ポイント上回っていた。世代間においては違いが認められなかった。

女性では「良く知っている」12.8%、「ある程度知っている」47.4%と周知しているのは60.2%であった。男性に比べ高値で有意差($p<0.01$)を認めた。未既婚でみると既婚64.1%に対し未婚56.0%と既婚が8.1ポイント上回っており有意差($p<0.05$)を認めた。世代間においては違いが認められなかった。

前回調査では、男性の周知度が64.5%であり12.5ポイント低下しており、女性では71.8%と10.6ポイント低下していた。

表 7-1. 経口避妊薬の周知度（男性）

	良く知っている		ある程度知っている		あまり知らない		全く知らない		無回答		総計
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
男性	38	5.7	311	46.3	234	34.9	81	12.1	7	1.0	671
既婚	14	4.3	148	45.5	120	36.9	39	12.0	4	1.2	325
25歳未満	1	50.0			1	50.0					2
25-34歳	6	7.1	37	43.5	31	36.5	10	11.8	1	1.2	85
35-44歳	7	4.3	71	43.8	66	40.7	17	10.5	1	0.6	162
45歳以上			40	52.6	22	28.9	12	15.8	2	2.6	76
未婚	24	7.0	159	46.5	114	33.3	42	12.3	3	0.9	342
25歳未満	9	7.3	55	44.4	41	33.1	17	13.7	2	1.6	124
25-34歳	7	5.6	58	46.4	46	36.8	14	11.2			125
35-44歳	5	7.6	34	51.5	19	28.8	7	10.6	1	1.5	66
45歳以上	3	11.1	12	44.4	8	29.6	4	14.8			27
未既婚不詳			4	100.0							4
35-44歳			3	100.0							3
45歳以上			1	100.0							1

表 7-2. 経口避妊薬の周知度（既婚女性）

	良く知っている		ある程度知っている		あまり知らない		全く知らない		無回答		総計
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
女性	111	12.8	412	47.4	280	32.2	56	6.4	10	1.2	869
既婚	67	13.8	244	50.3	143	29.5	25	5.2	6	1.2	485
25歳未満	3	21.4	4	28.6	6	42.9	1	7.1			14
25-34歳	21	17.8	61	51.7	29	24.6	6	5.1	1	0.8	118
35-44歳	32	14.3	118	52.9	62	27.8	10	4.5	1	0.4	223
45歳以上	11	8.5	61	46.9	46	35.4	8	6.2	4	3.1	130

表 7-3. 経口避妊薬の周知度（未婚女性）

	良く知っている		ある程度知っている		あまり知らない		全く知らない		無回答		総計
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
未婚	44	11.7	167	44.3	134	35.5	28	7.4	4	1.1	377
25歳未満	14	9.4	62	41.6	56	37.6	14	9.4	3	2.0	149
25-34歳	17	15.7	47	43.5	39	36.1	5	4.6			108
35-44歳	11	12.4	39	43.8	30	33.7	8	9.0	1	1.1	89
45歳以上	2	6.5	19	61.3	9	29.0	1	3.2			31
未既婚不詳			1	14.3	3	42.9	3	42.9			7
25歳未満							2	100.0			2
25-34歳			1	33.3	2	66.7		0.0			3
35-44歳							1	100.0			1
45歳以上					1	100.0					1
総計	149	9.7	723	46.9	514	33.4	137	8.9	17	1.1	1540

8. 緊急避妊法の周知度

緊急避妊法（モーニングアフターピル・性交後避妊法）の周知度についてみると、周知しているものが男性は23.1%であり、既婚20.6%、未婚25.7%と未婚者が5.1ポイント上回っていた。

女性は35.3%、既婚32.2%、未婚39.5%であり、男女とも未婚者において高値であった。女性において男性に比べ有意($p<0.05$)に高値であった。

表 8-1. 緊急避妊法の周知度（男性）

	聞いたことがある		ない		無回答		総計
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
男性	155	23.1	507	75.6	9	1.3	671
既婚	67	20.6	254	78.2	4	1.2	325
25歳未満	2	100.0					2
25-34歳	20	23.5	65	76.5			85
35-44歳	32	19.8	127	78.4	3	1.9	162
45歳以上	13	17.1	62	81.6	1	1.3	76

表 8-2. 緊急避妊法の周知度（男性）

	聞いたことがある		ない		無回答		総計
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
未婚	88	25.7	250	73.1	4	1.2	342
25歳未満	37	29.8	85	68.5	2	1.6	124
25-34歳	27	21.6	97	77.6	1	0.8	125
35-44歳	15	22.7	50	75.8	1	1.5	66
45歳以上	9	33.3	18	66.7		0.0	27
未既婚不詳			3	75.0	1	25.0	4
35-44歳			2	66.7	1	33.3	3
45歳以上			1	100.0			1

表 8-3. 緊急避妊法の周知度（女性）

	聞いたことがある		ない		無回答		総計
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
女性	307	35.3	543	62.5	19	2.2	869
既婚	156	32.2	319	65.8	10	2.1	485
25歳未満	10	71.4	3	21.4	1	7.1	14
25-34歳	51	43.2	66	55.9	1	0.8	118
35-44歳	75	33.6	147	65.9	1	0.4	223
45歳以上	20	15.4	103	79.2	7	5.4	130
未婚	149	39.5	219	58.1	9	2.4	377
25歳未満	67	45.0	75	50.3	7	4.7	149
25-34歳	50	46.3	58	53.7			108
35-44歳	26	29.2	63	70.8			89
45歳以上	6	19.4	23	74.2	2	6.5	31
未既婚不詳	2	28.6	5	71.4			7
25歳未満			2	100.0			2
25-34歳	2	66.7	1	33.3			3
35-44歳			1	100.0			1
45歳以上			1	100.0			1
総計	462	30.0	1050	68.2	28	1.8	1540

9. 緊急避妊法の周知者の利用度

緊急避妊法を周知している男性は 672 名中 155 名 (23.1%) であり、この方法を利用させたことがあったのは 10 名 (6.5%) であり、その頻度は 2 回が 1 名 (0.6%)、3 回以上 3 名 (1.9%) であった。「わからない」と判定を保留したものは 7 名 (4.5%) であった。未既婚別でみると既婚者は 10 名中 6 名であり、2 回が 1 名、未婚 4 名、内 3 名が 3 回以上であった。

女性は 307 名中 20 名 (6.6%) であり、1 回 14 名 (4.6%)、2 回 4 名 (1.3%)、3 回以上 2 名 (0.7%) であった。これをみ既婚でみると既婚、未婚共に 10 名ずつであった。

表 9-1. 緊急避妊法周知者の利用度 (男性)

	1 回		2 回		3 回以上		ない		分らない		無回答		総計
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
男性	6	3.9	1	0.6	3	1.9	138	89.0	7	4.5			155
既婚	5	7.5	1	1.5			57	85.1	4	6.0			67
25 歳未満	1	50.0					1	50.0					2
25-34 歳	1	5.0	1	5.0			17	85.0	1	5.0			20
35-44 歳	3	9.4					27	84.4	2	6.3			32
45 歳以上							12	92.3	1	7.7			13
未婚	1	1.1			3	3.4	81	92.0	3	3.4			88
25 歳未満							35	94.6	2	5.4			37
25-34 歳					1	3.7	26	96.3					27
35-44 歳	1	6.7			1	6.7	12	80.0	1	6.7			15
45 歳以上					1	11.1	8	88.9					9
未既婚不詳													
35-44 歳													
45 歳以上													

表 9-1. 緊急避妊法周知者の利用度 (女性)

	1回		2回		3回以上		ない		分らない		無回答		総計
	回数	割合	回数	割合	回数	割合	回数	割合	回数	割合	回数	割合	
女性	14	4.6	4	1.3	2	0.7	283	92.2	3	1.0	1	0.3	307
既婚	7	4.5	3	1.9			144	92.3	2	1.3		0.0	156
25歳未満							10	100.0					10
25-34歳	2	3.9	1	2.0			48	94.1					51
35-44歳	3	4.0	2	2.7			68	90.7	2	2.7			75
45歳以上	2	10.0					18	90.0					20
未婚	7	4.7	1	0.7	2	1.3	137	91.9	1	0.7	1	0.7	149
25歳未満	3	4.5			1	1.5	62	92.5	1	1.5			67
25-34歳	3	6.0	1	2.0	1	2.0	44	88.0			1	2.0	50
35-44歳	1	3.8					25	96.2					26
45歳以上							6	100.0					6
未既婚不詳							2	100.0					2
25歳未満													
25-34歳							2	100.0					2
35-44歳													
45歳以上													
総計	20	4.3	5	1.1	5	1.1	421	91.1	10	2.2	1	0.2	462

10. 性に関する意識についての小括

1. 中学生が性交渉をすることに対する考え

近年、「若者の性行動が活発化している」と杞憂する大人たちが増えているようだが、そのような事実がないことを本調査では明らかにしてきた。その意識を問いかける設問として「中学生が性交渉をすることに対する考え」について聞いている。これによると「妊娠や性感染症に対し自分で責任の取れる年齢や立場になってからすべき」と考えるのが男性で53.4%、女性68.4%と高値を示していた。しかも女性により高率であり有意差を認めている。大人が考えるものとしては正答なのかもしれない。

しかし、「個人の自由で仕方ない」と回答するものが35歳未満の男性に3割前後いた。特に未婚男性である。このことは、個々人の自由を尊重している感が否めないし、彼らの行動にも影響している可能性も窺われる。この点については、この設問以降の回答によって明確になってくると考えている。

2. セックス（性交渉）に対する関心度について

セックス（性交渉）に対して関心を示すのは、男性で81.4%、女性49.0%と女性が半数に留まっていた。男性は未既婚を問わずほぼ同じ値であったが、女性の既婚は43.7%に対し未婚56.5%と既婚において有意に低値を示していたことである。性的関心度が結婚を境に薄れているようであった。

特に、35歳を超えた既婚女性は、関心を示さないのが半数を超えており、45歳を超えた既婚女性は「全くない」が17.7%と35・44歳の8.1%に比べ2倍に上昇していたことの意味するものを考える必要があると思われた。

3. 異性との関わりについて

異性との関わりに面倒だと感じるか否かについて、男性は「面倒と感じる」と考えているのが、とても面倒を含め31.6%であり、既婚では26.5%に対し未婚36.8%と未婚が高値で有意差を認めている。未婚であるがゆえに女性とのコンタクトを煩わしく感じるのは容易に想像つくところである。

女性は、面倒を感じているのが既婚で53.1%、未婚は37.9%と男性に比べ同じ割合であるが、既婚の女性が逆転して高値である。このことは結婚することによって異性との関わりを面倒と思うものが増えてきていると思われる。セックスに対する関心度の低下と相通じていることが示されていた。

4. 避妊方法の周知媒体

避妊法を知ることとなった媒体であるが、男女とも性教育が周知徹底されてきた時代背景もあり、「教師・学校の授業」と回答するものが最も多く、特に若い世代で強く指摘される場所であった。「友達から」や「マスコミから」が続いていたところも周知媒体としては頷けるところでもある。

5. 現時点で適切と判断する避妊方法

現時点で適切と判断する避妊法についてであるが、前回調査時は複数の選択肢が与えられていたが、今回は選択肢が1つに限定されていたために単一的に比較することはできない。

男性はコンドームをベストチョイスにしたのが90.6%であったが、女性は84.3%と6.3ポイント下回わり有意差を認めている。女性はベストチョイスとして経口避妊薬（低用量ピル）や基礎体温法、子宮内避妊具等と避妊の選択肢の広がりをみせていた。膣外射精法を女性がベストチョイスに選択したのはわずか7名（0.8%）であったことは、女性が考える避妊法ではないという意識が高まってきているようにも思われる。

6. コンドームの利用を増やす方法

性感染症（STD）予防のためにコンドームの使用促進についての考えを聞いているが、男女共に「コンドームの有効性を周知させる」ことをあげており、年齢を重ねるにつれ高くなっていった。また、コンドームは男性が着けるものであり「入手しやすくする」や「値段を安くする」は男性が上回っていたことは、STD予防のための認識と常に入手できる環境下にあるという意識を併せ持つことの重要性が強く窺われた。

7. 経口避妊薬の周知度

経口避妊薬の周知については、当然のことながら男性よりも女性の方が周知度において高く「良く知っている」と回答したものが女性で10%を超えており男性では5%前後であった。「ある程度知っている」との回答率は男女とも40%の半ば前後であり、「あまり知らない」との回答率も同様に30%半ばであることは、女性が服用するもので確実に避妊ができるものと捉え、毎日飲まなければならない面倒なものとして理解していたのではないかと考える。後半に低用量ピルの項が設けられているので詳細は、その項で述べることにする。

8. 緊急避妊法の周知度

緊急避妊法の周知度についても男性よりも女性の方が周知度において高いのは当然のことといえよう。「聞いたことがある」が男性では20%から25%であり、前回調査より5%ほど低くなっているものの有意な差ではなく、大きな変化はないものと思われる。女性の周知率は前回調査時よりも5%ほど上昇しており、既婚よりも未婚女性の方が周知率において高くなってきているものの半数を超えるまでには至っていない。

2010年12月24日に「レボノルゲストレル」単剤の緊急避妊薬が承認され2011年には市場導入が見込まれるようになったので、周知度も急速に高まることが予測される。

9. 緊急避妊法の周知者の利用度

この緊急避妊法の利用度について、男性は10名（6.4%）に使用させており、女性は20名（6.6%）が使用しており、男女間に周知度に比べ差が無くなっているのは、利用するに際しては必ず男女間で話し合っているものと思われる。また、後述する低用量ピルの服用率とほぼ同じと思われた。

Ⅲ章. 性行動について

1. 性交経験について

性交経験の有無について問いかけているが、男性は無回答を除く有効回答数でみると 667 名中 565 名 (84.7%) であり、女性は 858 名中 736 名 (87.9%) であった。それを 5 歳階級年齢別性交経験者の割合を表 1-1 に示す。各年代間に男女間の違いは認められなかった。また、() 内は 2008 年に行った第 4 回調査結果であるが、20 歳未満と 20-24 歳の男女間で増減を認めるも有意な差ではなかった。

表 1-1. 5 歳階級別性交経験者の割合：() 内前回調査結果

	男性	経験者	% (前回)	女性	経験者	% (前回)
20 歳未満	61	15	24.6 (36.1)	65	13	20.0 (27.7)
20-24	64	41	64.1 (66.7)	95	68	71.6 (56.8)
25-29	107	94	87.9 (84.0)	110	92	83.6 (88.0)
30-34	103	91	88.3 (92.7)	117	105	89.7 (94.8)
35-39	132	126	95.5 (93.8)	161	154	95.7 (97.9)
40-44	98	95	96.9 (95.9)	150	144	96.0 (97.5)
45 歳以上	104	103	99.0 (98.9)	160	160	100.0 (100.0)
総計	669	565	84.5 (87.4)	858	736	85.8 (87.9)

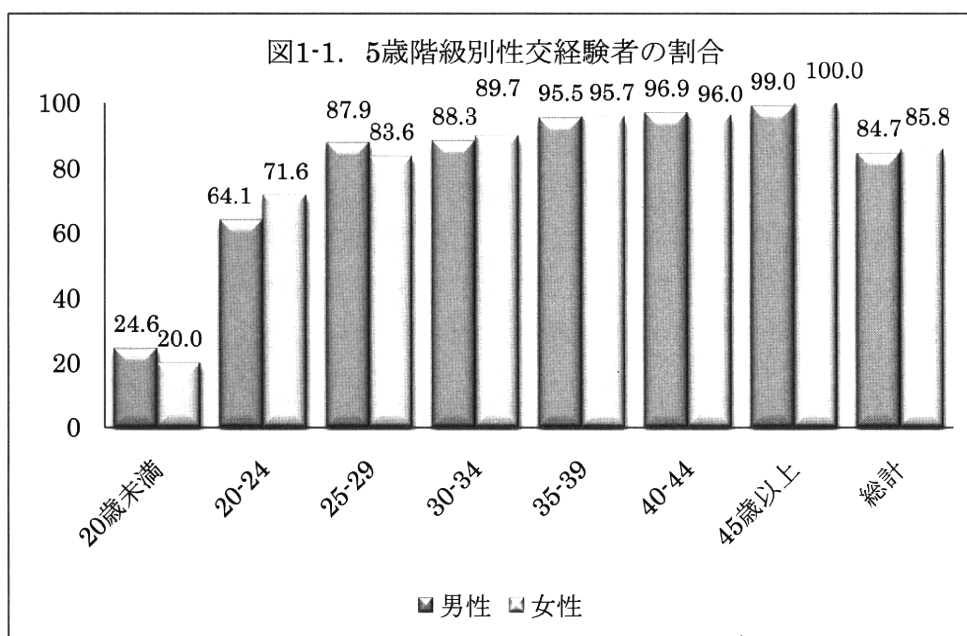
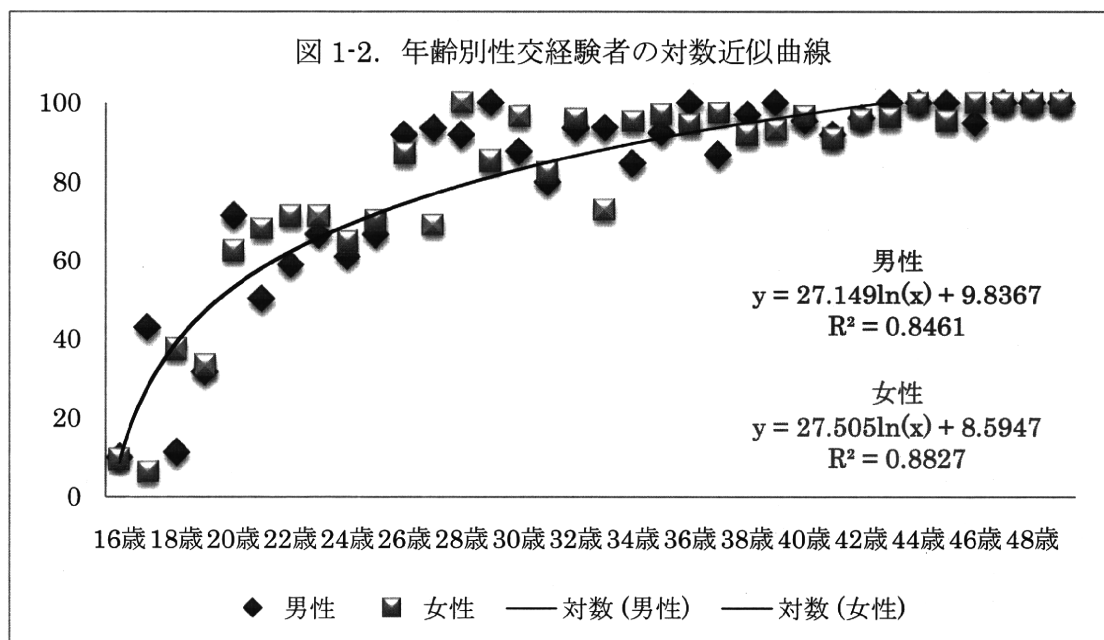


図 1-1 は男女の 5 歳階級別性交経験者の割合を棒グラフにしたものである。図 1-2 は各年齢毎に性交経験率を男女別にプロットしたもので対数近似曲線を描いてみた。これによると 20 歳前後で約半数が性交を経験していることが推測される。



2. 過去 1 年間の性交渉のパートナーの数

性交経験者に対し過去 1 年間に性交渉を持ったパートナーの数を聞いているが、男性で「性交渉を持たなかった」が 106 名(18.8%)、持ったものが 444 名(78.6%)であり、そのうち 1 名のパートナーが 343 名 (60.7%)、2 名以上の複数とは 101 名 (17.9%) であった。未既婚別でみると「性交渉を持たなかった」既婚男性 45 名 (13.8%)、未婚 61 名 (25.8%) と後者が有意($p < 0.001$)に高値であった。持った者は既婚で 267 名 (82.2%)、複数のパートナーは既婚 27 名 (8.3%) に対し未婚 236 名中 173 名 (73.3%) が関係を持っており複数との関係は 73 名 (30.9%) と有意($p < 0.001$)に高値を示していた。

第 4 回調査と比べて「性交渉なし」が既婚 9.4%から 13.8%と 4.4 ポイントの上昇、未婚で 22.1%から 25.8%で 3.7 ポイント上昇、複数のパートナーが既婚 12.5%から 10.1%とマイナス 2.4 ポイント、未婚 49.4%から 42.2 とマイナス 7.2 ポイントであったが、いずれも有意な差ではなかった。

表 2-1. 男性の過去 1 年間の性交渉のパートナー数

	1 人		2-4 人		5-9 人		10 人以上		性交渉なし		無回答		対象総数
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
男性	343	60.7	74	13.1	16	2.8	11	1.9	106	18.8	15	2.7	565
既婚	240	73.8	13	4.0	8	2.5	6	1.8	45	13.8	13	4.0	325
25 歳未満	2	100.0											2
25-34 歳	71	83.5	3	3.5	3	3.5	3	3.5	4	4.7	1	1.2	85
35-44 歳	117	72.2	6	3.7	4	2.5	2	1.2	25	15.4	8	4.9	162
45 歳以上	50	65.8	4	5.3	1	1.3	1	1.3	16	21.1	4	5.3	76
未婚	100	42.4	60	25.4	8	3.4	5	2.1	61	25.8	2	0.8	236
25 歳未満	31	57.4	10	18.5					12	22.2	1	1.9	54
25-34 歳	45	45.0	31	31.0	2	2.0	4	4.0	18	18.0			100
35-44 歳	15	26.8	16	28.6	2	3.6	1	1.8	21	37.5	1	1.8	56
45 歳以上	9	34.6	3	11.5	4	15.4			10	38.5			26
未既婚不詳	3	75.0	1	25.0									4
35-44 歳	2	66.7	1	33.3									3
45 歳以上	1	100.0											1

女性では「性交渉を持たなかった」が 144 名(19.6%)、持ったものが 555 名(75.4%)であり、そのうち 1 名のパートナーが 486 名 (66.0%)、2 名以上の複数は 69 名 (9.4%)であった。この複数のパートナーについては男女間に有意差(p<0.001)を認めた。未既婚別で見ると「性交渉を持たなかった」既婚女性 78 名 (16.1%)、未婚 65 名 (26.6%)と後者が有意(p<0.01)に高値であった。持った者は既婚で 379 名(78.1%)、未婚 244 名中 173 名(70.9%)であった。複数のパートナーは既婚女性 19 名 (3.9%) に対し未婚 50 名 (20.5%)と有意(p<0.001)に高値を示していた。しかしながら、この 20.5%は未婚男性の 30.9%より 10.4 ポイント低値で両者間に有意差(p<0.01)を認めた。

第 4 回調査と比べて「性交渉なし」が既婚 15.0%から 16.1%と 1.1 ポイントの上昇、未婚で 20.7%から 26.6%で 5.9 ポイント上昇、複数のパートナーが既婚 3.8%から 3.9%と 0.1 ポイントの上昇、未婚 26.4%から 20.5 とマイナス 5.9 ポイントであった。

表 2-2. 女性の過去 1 年間の性交渉のパートナー数

	1 人		2-4 人		5-9 人		10 人以上		性交渉なし		無回答		対象総数
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
女性	486	66.0	48	6.5	16	2.2	5	0.7	144	19.6	37	5.0	736
既婚	360	74.2	13	2.7	4	0.8	2	0.4	78	16.1	28	5.8	485
25 歳未満	13	92.9	1	7.1									14
25-34 歳	105	89.0	1	0.8	2	1.7	2	1.7	6	5.1	2	1.7	118
35-44 歳	161	72.2	8	3.6	1	0.4			40	17.9	13	5.8	223
45 歳以上	81	62.3	3	2.3	1	0.8			32	24.6	13	10.0	130
未婚	123	50.4	35	14.3	12	4.9	3	1.2	65	26.6	6	2.5	244
25 歳未満	34	52.3	18	27.7	5	7.7	1	1.5	5	7.7	2	3.1	65
25-34 歳	42	55.3	12	15.8	3	3.9			18	23.7	1	1.3	76
35-44 歳	36	48.6	3	4.1	4	5.4	2	2.7	29	39.2			74
45 歳以上	11	37.9	2	6.9					13	44.8	3	10.3	29
未既婚不詳	3	42.9							1	14.3	3	42.9	7
25 歳未満											2	100.0	2
25-34 歳	3	100.0											3
35-44 歳									1	100.0			1
45 歳以上											1	100.0	1
総計	829	63.7	122	9.4	32	2.5	16	1.2	250	19.2	52	4.0	1301

35 歳を境に世代別についてみると既婚男性では「1 人のみ」が 35 歳未満で 83.9% に対し 35 歳以上 70.2% と 13.7 ポイント前者が高値であり有意差($p<0.05$)を認めた。「1 年間なし」35 歳未満 4.6% に対し 35 歳以上 17.2% と後者が有意($p<0.01$)に高値であった。

表 2-3. 35 歳を境にした男性の過去 1 年間の性交渉のパートナー数

	1 人		2-4 人		5 人以上		1 年間なし		無回答		総計
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
男性	343	60.7	74	13.1	27	4.8	106	18.8	15	2.7	565
既婚	240	73.8	13	4.0	14	4.3	45	13.8	13	4.0	325
35 歳未満	73	83.9	3	3.4	6	6.9	4	4.6	1	1.1	87
35 歳以上	167	70.2	10	4.2	8	3.4	41	17.2	12	5.0	238
未婚	100	42.4	60	25.4	13	5.5	61	25.8	2	0.8	236
35 歳未満	76	49.4	41	26.6	6	3.9	30	19.5	1	0.6	154
35 歳以上	24	29.3	19	23.2	7	8.5	31	37.8	1	1.2	82